

事務事業名 農村環境整備事業

出力日：令和02年03月19日

キーコード：443

施策：	05	農林業の振興	財務コード	01050106-02-00
基本事業：	02	農業構造改革の推進	担当部	環境経済部
基本事業の成果指標	利用権を設定された農地の面積 中山間地域等直接支払制度集落協定締結農家数		担当課	農政課
			担当係	農林土木担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	~		新規・継続	継続	会計区分			実施計画	
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
農業用施設			地元の要望に基づき、予算の範囲内において精査した上で計画的に農業用施設（農道、水路、井堰、溜池等）の整備、改修を行う。整備及び改修を行う場合、筑紫野市農林業事業費分担金条例に基づき地元負担金として事業費の10%を徴収する。軽微なものについては材料支給を行い、地元で対応をお願いする。小規模なものについては市単費で対応し、大規模なものについては、国県補助を活用しながら実施する。						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			平成30年度実績						
農業用施設の整備・改修を行い営農の利便性向上を図る。			材料支給 19件 単独工事 26件 補助工事 1件						
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	29年度 実績	30年度 実績	01年度 当初	02年度 要求	03年度 計画	04年度 計画	目標
要望対応率		率	100	100	100				100
5. コスト									
事業費		計	千円	23,151	19,576	22,364	34,156		
		国	千円	0		0	0		
		県	千円	3,325	2,720	2,090	6,433		
		地方債	千円		6,900	5,800	12,000		
		その他	千円	1,407	1,252	1,531	2,288		
一般		千円	18,419	8,704	12,943	13,435			
正職員人工数		人工	1	1	1	1			
正職員人件費		千円	7,996	8,089	8,065	7,985			
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	31,147	27,665	30,429	42,141			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている		地元要望に基づき農業用施設の整備及び改修を予算の範囲内において実施している。							
どちらかといえばあがっている		農業従事者の高齢化に伴い農業用施設の維持管理水準が低下している。また農業用施設の老朽化に伴い、年々地元要望が増加傾向にある。							
あがっていない（停滞・低下）									
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	あり						
成果向上余地	小さい								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）			改善方向性		維持	見直し	廃止	事業終了	
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）									
備考・特記事項 or 進行管理欄			地元要望に基づき農業用施設の整備及び改修を予算の範囲内において実施している。農業従事者の高齢化に伴い農業用施設の維持管理水準が低下している。また農業用施設の老朽化に伴い、年々地元要望が増加傾向にある。						